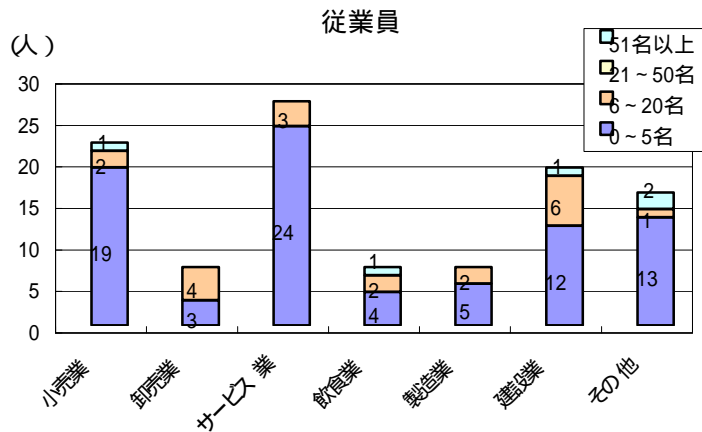
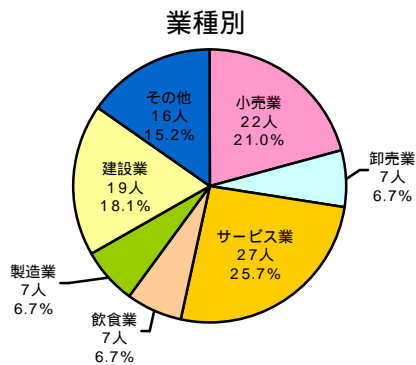


原油価格高騰による影響調査結果

1. 調査の概要

- 調査対象 : 市内中小企業
 調査期間 : 平成19年6月26日(火)～平成19年7月27日(金)
 調査方法 : 直接記入方式
 回答数 : 105人
 調査機関 : 熊本商工会議所



調査結果のポイント

石油並びにその他関連製品の価格上昇で影響は・・・
 9割の企業が影響ありと回答、企業経営への影響を危惧している
 (65%が既に出ている、24%が今後出ることが予想されると回答)

影響はどこに出ているか・・・
 原材料(仕入)価格の上昇を挙げる企業が約半数。業種を問わず企業経営に大きく影響を及ぼしている

商品・サービス価格への転嫁は・・・
 転嫁しているのは約1/4に対し、依然として転嫁できていない企業が約6割。
 更に原油価格が上昇すれば、企業経営への影響は深刻さを増すことも予想される。

価格転嫁以外の対策は・・・
 経費の節減を挙げる企業が40%、一方、特に何もしていない企業も35%あり

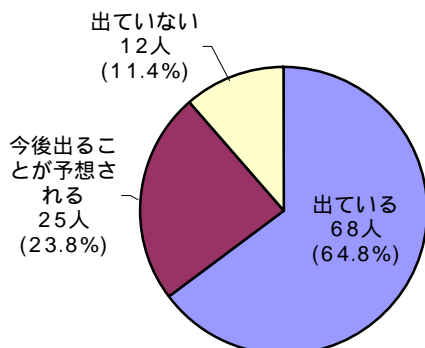
原油価格の高騰が続いた場合の収益への影響は・・・
 全ての企業が収益への影響ありと回答
 (大きく圧迫24.7%、やや圧迫51.6%、影響は小さい22.6%、との中間1.1%、影響なし0%)

バイオマスエタノールの普及の影響で一部食品の値上げを知っているか・・・
 9割以上が知っていると回答

バイオ燃料の普及には・・・
 穀物類や食品の価格上昇や、新たな耕作地開発のための森林伐採による水不足などが懸念される一方で、排ガスの削減などによる地球温暖化防止や環境保全の向上を期待

2. 調査結果

Q1. 原油価格の高止まりによるガソリン、重油、軽油、灯油並びにその他関連製品の小売価格の上昇で影響が出ていますか？

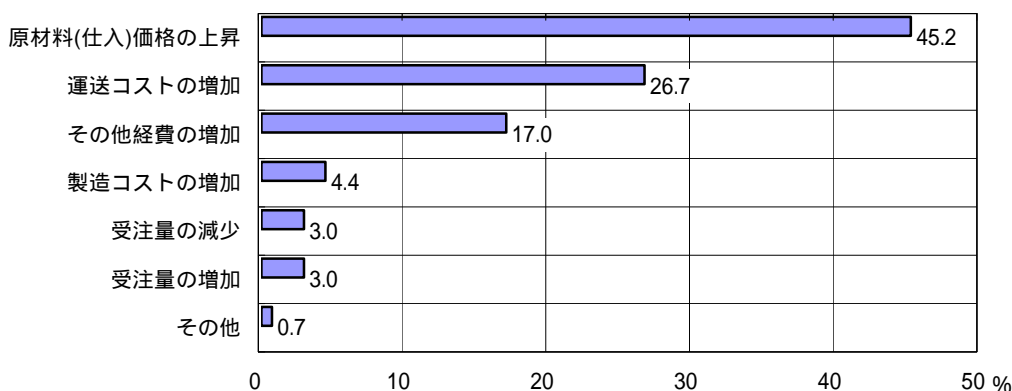


影響が出ているとの回答が64.8%、今後出ることが予想されるとの回答が23.8%で、約9割が企業経営への影響を危惧している。

< 前回の調査結果では・・・ >

昨年のほぼ同時期に実施した調査結果でも、影響が出ているが74%、出ることが予想されるが17%、合わせて91%となっており、今回とほぼ同じ結果であった。

Q2. その影響はどの部分に出ていますか、または出ることが予想されますか？（複数回答）
（Q1で出ている、出ることが予想されると回答した方に質問）

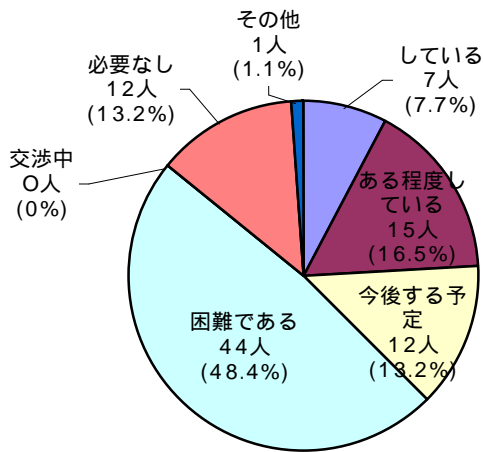


原材料(仕入)価格の高騰が61人(45.2%)、次いで運送コストの増加が36人(26.7%)、その他経費の増加が23人(24.7%)となっており、原油価格の高止まりが長期化していることで石油関連製品の値上がりも広範囲に及び、業種を問わず原材料等の仕入価格の上昇が企業経営に大きく影響を及ぼしているという結果となっている。

< 前回の調査結果では・・・ >

営業コストの増加が60%、次いで仕入価格の上昇と原材料価格の上昇がそれぞれ20%となっていた。原油価格の高止まりの長期化に伴いガソリン代の負担増など直接的な影響から原材料価格の上昇など間接的な影響へシフトしているものと予想される。

Q3 . その影響を商品・サービス価格へ転嫁していますか？



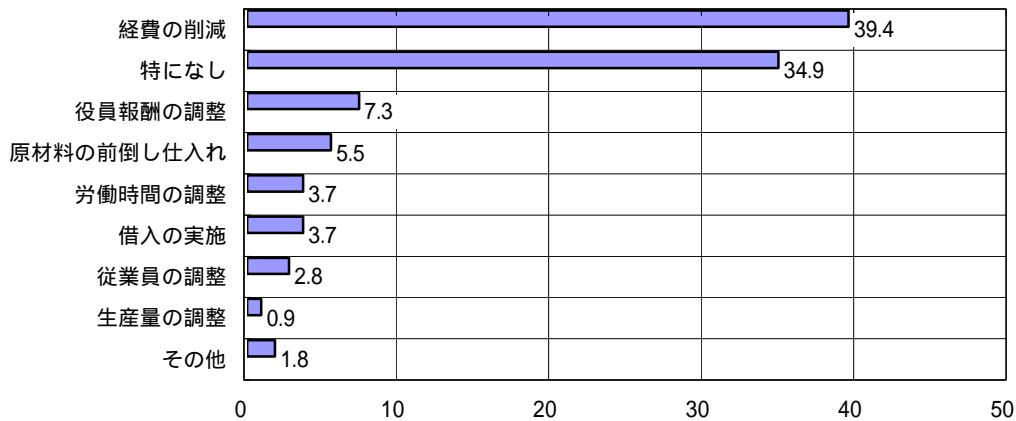
価格に転嫁しているのは7.7%で、ある程度している16.5%と合わせても転嫁できているのは24%となっている。

一方、困難であると回答した人は48.4%で、今後転嫁予定の人と合わせると62%が現在も価格転嫁できていない。

< 前回の調査結果では・・・ >

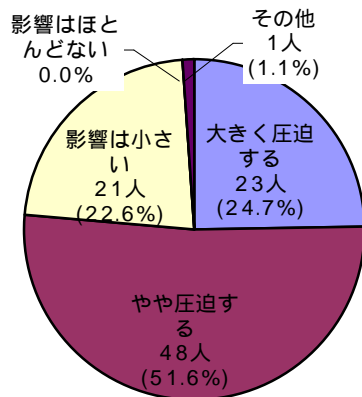
転嫁しているが5%、転嫁していない、今後転嫁予定の合計が95%だったので、転嫁できていない割合は33%減少したものの、価格競争が厳しい中、依然として価格転嫁が難しい状況が続いており、企業経営への影響は深刻さを増すことも予想される。

Q4 . 価格転嫁以外にとっている対策は何かありますか？（複数回答可）



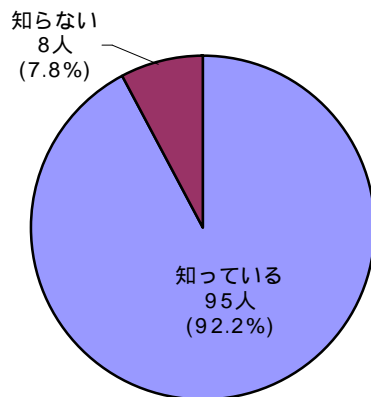
価格転嫁以外にとっている対策は、経費の削減が圧倒的に多く43人(39.4%)で、続いて役員報酬の調整が8人(8.6%)、原材料の前倒し仕入れが6人(5.5%)となっている。また、1/3の38人(34.9%)は特に何もしていないと回答している。

Q5 . 原油価格の高騰がこのまま続いた場合、収益にどの程度影響を及ぼしますか？



大きく圧迫するが約1/4、やや圧迫するが半分強(51.6%)となっており、3/4以上の企業が収益を圧迫すると回答している。影響は小さいと回答した企業が22.6%あったものの、影響なしの回答はゼロとなっており、原油価格の高騰が全ての企業に影響を及ぼすという結果となった。

Q 6 . 石油にかわる燃料としてサトウキビ、トウモロコシなど植物を原料としたバイオマスエタノールが注目されています。しかし、その影響で砂糖、植物油やそれらを原料に生産されるマヨネーズ、ジュースなど一部の食品が値上げされたことをご存知ですか？



9割以上の方がバイオマスエタノールの普及による影響で一部の食品が値上げされたことを知っていた。

Q 7 . ガソリン等の価格上昇で影響が出ていることや、バイオマスエタノールの普及で懸念されること、逆に期待されることは？

【ガソリン等の価格上昇による影響】

自動車燃料の軽減を図るためハイブリッドカーの普及が望まれる
材料などの便乗値上げ
ステンレス、アルミの素材関連の価格高騰がより深刻である
ガソリンの価格が更に上がれば生活への影響は逃れられない
食料品、医薬品、衣料品の値上げ
顧客の経費負担増による受注の減少

【バイオマスエタノールの普及で懸念されること】

穀物類(コーン、大豆等)の価格上昇で製造原価が上がった分を販売価格に転嫁できない
砂糖の価格上昇による影響が大きい
穀物(大豆、小麦、菜種、コーン等)が大幅に値上がりしている
バイオ燃料の普及で中南米、アジア、アフリカ等の森林を伐採して焼畑農業的に大豆等を植えることで涵養林が減少し水不足が懸念される。
様々な商品の値上げによる消費マインドの低下
食品の値上がりという悪い結果(影響)だけが残るのではないか
原材料等の価格上昇

【バイオマスエタノールの普及で期待されること】

地球温暖化対策
ガソリンに代わるエネルギーの普及が期待される
環境保全の向上
排ガスの削減効果
ヒマワリなど他の生産物の活用・拡大